



新しい年を迎えるに当たり

あとわずかです。2023年が終わります。皆様にとって、2023年はどのような年だったのでしょうか。私にとっての2023年は日本からスイスに赴任するという大きな変化があった年でした。これほど大きな変化は、人生の中でもそれほどはないと思います。

さて、学校は4月に始まり3月に終わるため、新しい年を迎えるといっても、それほど生活に大きな変化はありません。しかし、4月から始まる新しい生活を考えたとき、大きな変化を迎える人もいないのでしょうか。日本に帰国したり、上級学校に進学したりする人もいます。そういう大きな変化があったときに、どう対応したらいいのでしょうか。それは、準備をしておくことだと思います。次に起こることに備えて、少しでもいいから準備をしておくことです。1月から3月はその助走期間です。4月になってから慌てるのではなく、4月から始まる新しい生活に向けて準備をしてください。

メジャーリーグで活躍したイチロー選手は、「準備をする」ということを非常に大切にしていた人です。そして、このようなことを言っています。「“準備”というのは、言い訳の材料となり得るものを排除していく、そのために考え得るすべてのことをこなしていく、ということですね。」すなわち、「きちんと準備をしていなかったから、できなかった。」と言い訳をして後悔することをなくしたいということです。

皆さん、2024年がすばらしい年になるように、しっかりと準備をしておきましょう。

文責：校長

2023人権週間 ふれあい標語



各クラスで人権について考える授業を行い、ふれあい標語を作成しました。職員室前に掲示してあります。ぜひ御覧ください。

動くんだ 動かなければ 始まらない
頑張っつて なんとかしよう 世界平和
なかよくね みんなと楽しく おべんきょうしよう。
みつめよう 世界の中の 基準とは
ちくちくことば いやです。
人類は みんなに権利 あるんだよ
自分でね 自分を嫌いに ならないで
みんなでさ 平和な世界 つくろうよ
みんな！ 気もちがいいから ふわふわことばをいおうよ。
人生とは自分で決めること。相手が決める権利など全くない
だれもがね 同じ権利を 持っているよ
はく害や 差別をなくそう この世から
みんなにはね、自分がいやなことは、いっちゃだめだよ。
相手との 立場入れ替え 考えよう
国々の 文化や言葉 どれも大切
その言葉 人の心に ささってない？
人にはね 色んな個性 決めつけない
みんなにいやなことやわる口いっちゃダメだよ。
自慢して 自分の個性 自信持て
人々の 人権週間 様々だ
戦争は だれのためなの やめようよ
この世界 動かなければ 変わらない その意志持てば 世界は変わる

「みんなでがんばった！」 2学期終了！

小学部 3年

わたしが一番心に残ったことは、学習発表会です。なぜなら、全校で歌った「この星に生まれて」がとてもきれいだったからです。わたしは、みんなともう一回歌いたいなあと思っています。



小学部 4年

わたしは、学習発表会の合奏でピアノパートを担当しました。4年生はリコーダーの担当でしたが、堀先生にすすめられて、ピアノをすることになりました。練習の時間は2か月でした。毎日練習しました。本番では上手にひけました。毎日練習してきてよかったなと思いました。



小学部 6年

日本人学校に来て2か月しか経っていませんが、友達がたくさんできました。ドイツ語も少しずつ分かるようになってきました。もっと単語を知ってスイスの人と話してみたいと思っています。学習発表会では、努力して自分のできる精一杯の発表をしました。3学期も、どんなことにも精一杯努力していきたいと思っています。



小学部 6年

2学期で心に残っていることは、学習発表会です。特に、小学生みんなで「ホールニューワールド」を演奏したことがとても楽しかったです。最後に、みんなの音が重なってきれいにきめることができました。

5、6年生の発表では、見ている人にたくさん笑ってもらえて、分かりやすく楽しく伝えることができたと思いました。



中学部 3年

僕は、11月に参加したベルフスメッセが印象に残っています。今年で3回目でしたが、初めて出会う職業を体験することができました。また、中学卒業後の進路や将来の職業について考える良いきっかけになりました。研究所のブースでは顕微鏡をのぞき、スイス軍のブースでは国を守る仕事について学びました。スイスの職業教育を知ることができたことは、僕自身にとって大きな財産になりました。

